

研修だより

No. 11

仮説検証 分析第一弾！（12月の話合いより）

12月の研修で、ブロックごとに仮説に向かってここまで取り組んだ成果や課題、次年度取り組みたいことについて話合いをしていただきました。このあと研究部で意見をまとめていきますので、前回話に上がったこと以外に追加があれば、2月7日までに“ロイロノート「校内研修」の共有ノート”に書き込みをお願いします。

仮説1 課題に対して一人一人が目標をもち、ゴールまでの道筋をつくることで、見通しをもって学ぶ子どもを育てることができるだろう。

- ・個人目標の取り組みは定着し、公開研後も進んで課題に取り組もうとしている。
- ・考える時間、交流の時間、発表の時間を確保することで、子どもたちが進んで取り組めるようになった。
- ・単元の見通しをもち、個別に自分なりの目標をもつよさはあったと思うが、より教員も子どもも実践可能な形があるとよいかも。

- ・個人目標の設定は、なかなか日常の実践で行うことが難しかった面もある。理科、社会、体育などは取り入れやすい？
- ・自由学習のような形態のあとの収束のさせ方に課題があった。そこを重点に取り組んでもよかったかも。
- ・指導事項と単元の目標、本時の課題、子どもの個別目標の関係が難しいと感じた。様々な方法があるとは思いますが、個別目標をたてることでどの程度効果があったのかわからない。

仮説2 できた！わかった！成長した！を実感する手立てを講じることで、学ぶ楽しさや喜びを実感し、自ら進んで学ぶ子どもを育てることができるだろう。

☆ご意見ください！

☆ご意見ください！

【全体】今年はどこまで子どもに委ねるか迷ってしまい、結果去年よりも教師主導の場面が増えてしまったかも。職員の間でも、その度の考え方に違いがあったのでは。仮説を1つ減らして、去年の「子どもが主人公」をもっと強調してもよかったかもしれない。

次年度取り組みたいこと

- ・ICTについて、もう少し研修時間を増やしてほしい。（基本から）
- ・学力を上げたい。思考力を高めるような取組。
- ・国語に重点を置いた取組。国語の指導力を高めたい。
- ・書く力が弱いと感じているので、どの教科でも書けるように…。
- ・国語「書くこと」の領域に重点を置いた研修もいいのかも？ 稲田小など、近隣の学校でも取組の実践があるかも。
- ・事後研で中学校の先生から、書くことが苦手です！という意見もあり、ロイロノートに頼りすぎず、書く活動もしっかり取り入れていくことが大切だと思う。
- ・教科を絞って（ブロックごと？）一年間取り組むことで深まりが出るメリットもある。数年計画でもいいのかも。
- ・教科研究をした方がいい。方法論ばかり追いかけて、教科の指導系統をもっと学ぶべき。
- ・全体交流が弱いと感じています。発表で終わらず、話し合いまでできるとより力が付いていくと思います。
- ・どの授業でも、どんな単元でも取り入れられるような研究だとしやす。特別な授業だけにはならないように…。